

令和6年度

岩見沢市立栗沢小・中学校 グランドデザイン

《中・長期基本理念》

◆すべての子どもが「栗沢で学んでよかった」 ◆すべての保護者が「栗沢で育ててよかった」 ◆すべての住民が「栗沢で生きてよかった」

《校訓》

(小学校) 明るく 強く 力を合わせて
(中学校) 探究心と実践力をもつたくましい生徒

《重点目標》

Action 前に踏み出す力 **Thinking** 考え抜く力 **Teamwork** チームで働く力

《教育目標》

(小学校) ・深く考える子ども・思いやりのある子ども・
からだを大切にする子ども・がんばりぬく子ども
(中学校) 『つながる心 つなげる学び』

《めざす子ども像》

ふるさと栗沢を大切にする心を基盤に、自らのキャリア選択に応じた考えを膨らませ、グローバルな視点で仲間と共に新たなことに挑戦していく子どもたち

《めざす学校像》

- 学習の機能・社会的機能・福祉的機能をバランスよく併せ持ち、多様な人々とつながる学校
- すべての子どもたちの資質・能力を育成するための、個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びの往還を実現させる学校
- 未来社会を支える有為な人材を輩出できる学校(社会人基礎力の育成)

1st ステージ

1年～4年

明るく元気で笑顔が絶えない子どもたち

- *学びの基礎・基本の確実な習得
- *学習規律の徹底
- *明日につながる学習生活習慣の確立

学習生活習慣確立期

ステージ担任制

2nd ステージ

5年～7年

強い意志で正しく行動する子どもたち

- *習得した知識・技能を活かした主体的能力の育成
- *課題解決・課題発見に適する学習スキルの習得
- *有益な生き方を選択する社会性・人間性の育成

主体的能力育成期

ステージ担任制→教科担任制

3rd ステージ

8年～9年

新たなことに挑戦しチームで働く子どもたち

- *夢や希望の実現に向け、探究力を鍛錬する能力の育成
- *他者と協働しながら新たなものを創造する力の育成
- *世界の一員として、人とのつながりを大切にする心の育成

探究力鍛錬期

教科担任制

《めざす教職員像》

- 「めざす子ども像」の実現に向け、探究力鍛錬を図る授業改革やSTEAM教育の推進に向けた新しい知識・技能を学び続け、子どもたち一人一人の学びを最大限に引き出しながら、主体的に学校経営に参画する教職員
- 「未来の学校の創造」というミッションに向け、個々の強みでつながり補完し合う教職員

《目標達成のために徹底する取組》

- (1) 「めざす子ども像」「めざす教職員像」「めざす学校像」を達成するために、栗沢小・中学校双方向での、報告・連絡・相談を徹底する教職員の意識改革を図るとともに、ミドルリーダーが躍動し、分散型リーダーシップが発揮される学校運営の推進。
- (2) 各種調査の結果や質問紙・アンケート・QU調査・学校評価などの分析により子どもの変容を逐次確認、共有し、学校が抱える教育課題を絶えず明確にしていくとともに、ショートスパンでの改善システムを構築し、丁寧な説明責任、結果責任を内外に示していく。
- (3) 学校評価の取組を検証し、社会に開かれた学校を目指し、認定こども園との接続を大切にしたい一体的な評価システムの構築。
- (4) 栗沢の子どもや地域の実態に合った小中一貫教育と学校運営協議会(栗沢CS)、地域学校協働本部(マロンドリーム)の密接な関連を図り、チーム栗沢を確立する。
- (5) 「義務教育学校開校」を見据え、学校の仕組みや制度・業務を抜本的に見直し、組織横断的な視点で小中の様々な資源の確保・最適化を実行していく。



働き方改革

(業務の適正化に向けて)

1 子どもの「確かな学力」を保障する環境づくり

- ①授業日数210日確保(授業日の平準化)
- ②個別最適な学びの実現
- ③協働的な学びの充実
- ④小中が一貫した特別支援教育の確立
- ⑤栗沢CAマロンドリームとの連携

2 教職員が授業に専念できる環境づくり

- ①勤務時間の適正化(定時退勤の設定強化)
 - ・水曜日、部活動休止日の設定
 - ・土日のいずれか部活動休止日の設定
- ②部活動地域移行に向けた取組
- ③オーバー・カリキュラムへの対策
- ④カリマネ委員会の充実及び各種会議の精選
- ⑤年休・振替制度等の積極的活用

3 保護者・地域の教育ニーズに応じた環境づくり

- ①栗沢CA・マロンドリームと連携した学校教育の推進
- ②学校ホームページ、情報共有連絡方法の充実

多角的に課題をとらえ、
全員で知恵を出し合って
解決に向かっていく

Action

前に踏み出す力



主体性

実行力

働きかけ

未来のトピを拓くカリキュラム・マネジメント

*一人一人の子どもに「できる→わかる→使える→役に立つ」を体感させ「主体的・対話的で深い学び」の授業改革
*小中協働研修を土台にした「子どもと創る授業」構築による『栗沢スタイル』の実現
～誰一人取り残さない、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

数値的目標：全学年全教科NRT検査偏差値50以上達成

1st ステージ…9年間の学習の基盤となる基礎・基本の定着を徹底し、子どもたちの学習意欲を喚起させる課題の提示等の工夫、教科横断的に学習内容を深化させていく

2nd ステージ…各教科で習得した「見方・考え方」を基盤としながら、課題解決や課題発見に適した様々な学習スキルやコミュニケーション能力を身に付け、主体的・対話的な学習活動を通して探究力を鍛錬していく

3rd ステージ…7年間で培った人間性・社会性を基盤に、次なるステージでどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかのロードマップを描き、共に学んだ仲間と共に力強く一歩を踏み出す

Thinking

考え抜く力



課題発見力

計画力

創造力

豊かな心と体を育むカリキュラム・マネジメント

強い意志で正しく行動する心を基盤に持ち、新しいことに果敢に挑戦し、思いやりと協働の精神を大切にする子どもの育成

*ふるさと教育とSDGsを基盤とした生活科、総合的な学習の時間の充実
1st ステージ…基本的な生活習慣(挨拶、返事、掃除、時間など)、社会集団の一員としての社会性や人間性を身に付けることに重点を置き、いじめ等を許さず誰もが楽しく安心して学べる風土を確立する

2nd ステージ…よりよい人間関係を育む「未来の教室5原則」を活かし、新たな学校文化を醸成する自治的能力を身に付け、一人一人の自己存在感・有用感・成就感で心がつながる風土を確立する

3rd ステージ…ふるさと栗沢で育んできたことを基盤に、グローバルな視点で未知なるステージで飛躍する姿を膨らませ、仲間や地域と共に「日本型ウェル・ビーイング」を一つずつ実現のものとしていく

Teamwork

チームで働く力



発信力

傾聴力

柔軟性

規律性

状況把握力

心身ともに逞しい子どもを育成するとともに生命を尊び、健康で安全な学校生活を送ることができる教育環境づくりの推進

1st ステージ…規則正しい生活習慣の確立を基盤として、すべての子どもたちが明るく元気に過ごし、毎日が楽しいと思えるステージ。基礎体力やバランス感覚を養うことができる基礎スポーツの推奨。

2nd ステージ…誰とでも仲良く楽しい学校生活を送ることができるように工夫を凝らした生活を送るステージ。自ら選択し、心身を逞しくさせる部活動に積極的に取り組ませる

3rd ステージ…温かみに溢れ有意義な学校生活をすべての子どもたちが送ることができるよう、リーダーシップを発揮するステージ。部活動の取組の集大成として心身共に充実させる

社会に開かれつながる教育課程カリキュラム・マネジメント

社会に開かれつながる学校

「栗沢っ子」のための小中一貫教育の充実とマロンドリーム&栗沢CSと協働した教育環境整備 ⇒ 地域に足場を置いて思考し探究する活動 ⇒ 人づくりとまちづくりの一体的構築